



☆共JBN 外0924 (産業、教育) (10・8・26)

【産業担当デスク殿】40885

◎海外留学のEF、学生団体AIESECとパートナーシップを組む

【ハイデラバード (インド) 26日PRN=共同JBN】世界最大級の語学教育機関であるEFエデュケーション・ファースト (以下EF) と世界最大の学生運営組織の一つであるアイセック (AIESEC) は26日、インド・ハイデラバードでの「ユース・ツー・ビジネス・フォーラム2010」 (Youth to Business Forum 2010) 開催でグローバルパートナーシップを開始した。

両組織は協力して、才能のあるビジネスを専攻する学生が外国で国際語学教育をより良い環境で受けることができるプラットフォームを作り、ビジネス界だけでなく社会全般におけるグローバルなリーダーになる手段を提供していく。

マルチメディアのニュースリリースは以下をクリック。

<http://multivu.prnewswire.com/mnr/prne/efeducationfirst/44197/>

「ユース・ツー・ビジネス・フォーラム2010」にはこの日、世界100カ国以上から600人の若きリーダーが参加し、社会、教育システム、ビジネスに関するグローバルトレンドを議論した。フォーラムでは、若者による革新、労働力の可動性、多様性のほかに責任ある企業行動などのトピックが議論の中心となった。

EFインターナショナル・ランゲージ・センターのプレジデント、エバ・コックム氏は「われわれは、学生がグローバル市民および将来のリーダーになることを支援するアイセックの『ユース・ツー・ビジネス・フォーラム2010』をサポートできて極めて光栄である。世界中の若者の意見を聞くと、非常に刺激を受ける。このパートナーシップは、『言語、文化、地理的条件の違いによって生じる壁を取り除く』という当校のミッションを更に押し進める原動力になる」と語った。EFは今回のパートナーシップの開始に伴い、語学学習プログラムの提供、世界中でのインターシップ機会提供に関してアイセック・メンバーに対して特典を設ける。

日本では大学生の語学学習需要が以前から高いが、アイセックとのパートナーシップによって、EFでは自らのキャリア展望を切り拓く積極的な大学生の需要が更に増えると予測している。

EF Education Firstについて

EF Education Firstは世界最大級の語学教育機関で、言語・文化・地理的条件の違いによ

って生じる壁を崩すことをミッションとして1965年にスウェーデンで設立されました。現在海外で運営する400校以上の学校で1500万人の生徒が学び、語学研修をはじめ、教育ツアー、学位取得、文化交流など幅広い分野での教育事業を展開しています。アップルコンピュータ社との協力により考案されたシステムを原点とするEFの語学学習システムEfekta™システムは世界でも最先端の英語学習法であり、EFの語学学校とEnglishtown.comのオンライン英会話コースの原動力ともなっています。EFでは1200社あまりの英語研修を手がける他、北京オリンピックの公式英語研修提供機関にも選ばれ、また2014開催のFIFAワールドカップでは、ブラジルの国民の英語教育をサポートします。イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社は、EFの日本営業所で、東京本部、横浜支局、大阪支局、名古屋支局、京都支局、福岡支局の6拠点で、主に日本からEFの学校に留学する方の窓口となっています。

海外留学はEF: <http://www.efjapan.co.jp/>

メディアのお問い合わせはこちらへお願いします。

EF日本事務局 澁谷 浩子

電話: +81-3-5774-6206

Email: hiroko.shibuya@ef.com

出所: EF Education First